

# 令和7年度 川越市立霞ヶ関小学校 学校経営方針

令和7年4月1日（火）

霞ヶ関小学校長 古屋 博

## 1 学校教育目標

◎心豊かでたくましい子の育成

かしこい子（知） すこやかな子（体） みりよくある子（徳）

## 2 本年度の学校経営ビジョン<目指す学校像>

人（児童、保護者・地域、教職員）を大切にし、一人一人が輝く学校

○人（児童、保護者・地域、教職員）を大切にする学校 （3つの宝物）

児童が宝物

保護者・地域が宝物

教職員が宝物

○一人一人が輝く学校

児童が輝く  
（学びがい）

保護者・地域が輝く  
（応援しがい）

教職員が輝く  
（働きがい）

## 3 目指す児童像

○「かしこい子（知）」

自ら学ぶ子（意欲・学び方）

よく考えて学習する子（思考力）

学んだことを生活に生かせる子（ものの見方・とらえ方）

○「すこやかな子（体）」

健康な子（規則正しい生活、保健衛生）

体をきたえる子（体育、忍耐力）

安全な行動のとれる子（事故防止）

○「みりよくある子（徳）」

明るい子（挨拶、快活）

思いやりのある子（優しさ）

正しい判断・行動のとれる子（規律ある態度）

## 4 目指す教師像（未来を育てるかすみの教職員）

○か…かしこい教師「高い専門性を発揮する教職員」

・わかる、できる授業で信頼を得ることができる。

・子ども心に火を灯し、やる気にさせる。

・児童をよく理解し、温かく納得させる指導ができる。

・子どもたち一人一人を大切にし、所属感・満足感を与える学級経営・教室経営をすることができる。

- す…すこやかな教師「ワークライフバランスを大切にする教職員」
- ・心と体の健康を大切にし、笑顔で子どもたちの前に立つことができる。
  - ・無理なく、持続可能で着実な取組ができる。
  - ・仕事にメリハリをつけることができる。

- み…みりよくある教師「熱意、誠意、創意を持ち、愛情あふれる教職員」
- ・使命と誇りを持ち、子どもとともに学び続ける。
  - ・情熱と深い愛情を持ち、子どもに向き合い寄り添うことができる。
  - ・チームとして相手を尊重しながら互いに高め合える。
  - ・高い倫理観を持ち、正しい判断・行動ができる。

## 5 学校経営方針

- 児童を大切にし、一人一人の児童が輝く学校づくり  
「学習、生活の充実」、「児童の居場所づくり」、「特別支援教育の充実」  
→児童にとって「学びがい」がある。
- 保護者・地域を大切にし、保護者・地域が輝く学校づくり  
「開かれた学校づくり」、「家庭・地域・関係諸機関・異校種との連携の深化」  
→保護者・地域にとって「応援しがい」がある。
- 教職員を大切にし、一人一人の教職員が輝く学校づくり  
「組織対応（チームカスミ）の充実」、「働き方改革の推進」  
→教職員にとって「働きがい」がある。

## 6 本年度の重点・努力点

### <重点目標>

- ① 心豊かで「学校大好き」と言える子を育成する。
- ② 自分の目標を持ち、主体的に学び続ける子を育成する。
- ③ 学校の教育力向上のための組織運営と意識改革をする。

### <目標を達成させるための施策>

#### ○児童を大切にし、一人一人の児童が輝く学校づくり

##### (1)「学習、生活の充実」

- ①日々の授業の充実を図る。(Kasumi Style の深化・充実、授業改善・川越市学  
力向上プラン)
- ②情報活用能力を育成する。(学習用 PC の効果的な活用と実践)

##### (2)「児童の居場所づくり」

- ③所属感を高める学級づくりを行う。(学級活動の充実、温かい人間関係づくり、  
児童会活動、校内個別学習室の充実、メンタルヘルスリテラシー研究推進)
- ④安心して安全な教育環境の整備に努める。(個人面談、教育相談日の活用、SC・  
SSW・さわやか相談員等の活用、黙働清掃の実施等)

##### (3)「特別支援教育の充実」

- ⑤ユニバーサルデザインの視点を踏まえた指導、支援を推進する。(すべての児童

を大切にする教育)

○保護者・地域を大切に、保護者・地域が輝く学校づくり

(1)「開かれた学校づくり」

①家庭・地域への学校教育活動の積極的な発信を図る。(学校便り、HP の充実)

(2)「家庭・地域・関係諸機関・異校種との連携」

②学校運営協議会の充実を図る。

(学校課題解決のための熟議、意見の反映、具体的な施策の実施)

③PTA 活動、おやじの会、地域行事等との積極的な交流を図る。

(PTA 文化活動、一人一役等、霞地区子どもまつり、子どもサポート委員会)

○教職員を大切に、一人一人の教職員が輝く学校づくり

(1)「組織対応(チームカスミ)の充実」

①チームカスミを推進し、組織での対応を大切にしながら、同一步調で取り組む。

②情報の共有化・対応の組織化の徹底(報告・連絡・相談による指導の一本化)と、全教職員の学校運営参画意識の高揚を図る。

(2)「働き方改革の推進」

③教職員の負担軽減と ICT 活用による業務削減を検討し、時間外在校等時間の縮減、業務削減を図る。(教材の電子化、校務支援システム運用)